

赤友
賀就
坊
賞
市
石
丸
勝
一
殿





北海道釧路真砂
五十考地

武富美吉

三月一日
フミミミ
タアス
オクハ
ミコミ

イシロ

八日午

拝啓

平々余寒強より共清王宮市無暑有太勢有
小房方一日無事清之無生市初意沙下寂然とす
無音欠放市省虫沙下寂然とす
如何に有より共目下失るうううん時宜と好うす
石取故市依我目下幾分市樂にナシカト存る
付石ニ甲上候

一葉と市開及じ可有市王清銅路港に近來鉄道
開設以來是は進歩爲る集落云々も当海會中
一小問題と相成居衆識候に迎せしむ貴務院に

此等感嘆上ノ差異ミレシ界派相生居故ニ今派金
旅ノ通過如何カト存ス其結局國家ガ一兩年
中ニ無倫實施セラルハ觀ルルモ其世評致居リ
依リ土地ノ景況非常ニ人氣引立居る次第ニ有之
一右ノ状況ナルヲ以テ市井地ハ勿論近傍山林原野ニ
至ル迄ニ相當ノ價格ニ有リ其以テ多得其抑ミ
北海道ハ人ヲサテ土地ニ未タ見込ミ土地ニ残リ居
土地ニ有之故ニ其何ノ人ト能ク相決メ上ハ手ニ入り多手
續モ有之依リ先般中ニ種々相決メ遂ニ數百萬坪
ノ土地ヲ願^受得^ル事ニ豫メ相談^シ居然ニ土地願^受得^ル

ニハ北海道廳ノ規則アリ當時在任ノ人ニ願^受得^ルテ相叶
ハテ即チ内地各縣下ノ人ニ移住スルヲ名義ニサレ
ハ許可相成ヌ^ル併シ移住ハ其ノ其ノ願^受得^ルテ除中ニ
自稱シテ其等ヲ移住セシメ決シテ其ノ代^ニ願^受得^ルテ
名義人ノ資産度萬五千圓以上所有スルニ限ルト云フ規則
ヲ以テ即チ其自代^ニ人ニ限^ル

一右ノ都合ナラバ其名義ヲ借居^ル願^受得^ル許可相成ムル上
該地所ノ幾部合^テ分取^ル又ハ若干ノ報酬ヲ納^メテ
折^リテ其ハ常好^ニ何レトモ取斗^ハ又ハ其ノ職
業可相成^ルハ農業家^ヲ木^ノ業好^トス

一當時北海道廳、成規より願度く、土地一人三升九升
九斗坪ヲ限、度トシテ以テ今或百高坪ノ土地リ願度
く、二人ノ名或ヲ要シテ即ケ前陳ノ資格ニテ之ヲ
撰定相願修

一先般右土地ノ外九拾九万五千坪、一ヶ所ヲ馬田仕ニ
ノ名我ラ以テ既ニ願書差出置、回下出願中ニ右之
依テ白人ハ右出願上ニ就テ諸吉類及ヒ具手續上
能ク能ク致居キニ付今人ヨリ詳シク申上キ条走曲步
同取ヒト欲キ

一右馬田取々上津見ニ相立キ上ハ馬田仕ニヨリ申上

ル處、高類取置ノ至色片送付相取知若シ市別意
アリシ出来不申矣時ニ仕ニヨリ直ニ馬田仕以テ
知ル。一。申遣シ置キニ付足ホ片合止申上置キ
尤モ右仕ニテ其ニ當リ人無之哉今馬田ノ意味御
置至床市合願上キ

一右出願上ニ就キテノ諸費用等ハ薄シ新方ニ相弁シ
許可シ、同詳細ヲ相決可致キ

一時格差良キ付具シ志願ニテ、其成否ハ市色
知ト欲キ

一馬田仕相取

一 吾任状 虎 但別事新形通

一 移居之証明書 虎 但全所

一 財産証明書 虎

一 戸籍謄本 虎

ノ 四号

右之通り、之方也

三月一日

武官 善士

石丸勝一様

貴下

尚、財産証明中一層注意を要する点、

一 諸公債及び銀行預金ノ両経、官廳ノ

受取最モ宜敷矣故尚希念及申上置

但別字

細全亭

四号

右之通也

十一

武
京
善
士

[illegible]

移住証明願

一事業目的
二貸付出願地積

牧場
老百萬坪

三移住、戸口

本人

四從來職業

五代人

移住後、託_レ鄰保救_レ方法ヲ設ケス

七、移住要する総費用或準備金

支世天

八
小
作
人
ナ
レ

九國結規約

右北海道國有未開地貸付並願移住後
候条法証明被成下度此段相願候也

住所

明治 年 月 日

氏名

縣知事宛

明治 年 月 日願北海道國有未開地移住
用銀 件明治 年 月 日願北海道國有未開地移住
三條 條 之 証明ス

縣知事印

平任状

自分儀

ヲ以部理代人定之左權

限ヲ代理セム

一釧路國阿寒郡小呂原野ニ於テ自分

名義ヲ以テ未開地出願ニ事在貸付願

書ヲ作製シ提呈スル事及該願知ニ對

調査主層起業方法書ニ如ク成切上

付與願書ヲ作製シ付呈出願スル事其

他付呈受允迄總ニ行度

一受任者、都府依り復代理セムル事

右手仕状依う此件。

年 月 日

氏名